

少年は、その夏未来を見た。

Juvenile

ジュブナイル



香取慎吾 酒井美紀 鈴木杏 遠藤雄弥・清水京太郎・YÜKI 緒川たまき 吉岡秀隆
監督・脚本・SFX 山崎貴

製作／メディアファクトリー・フジテレビジョン・小学館・IMAGICA・三井物産・ジェイアール東日本企画・白組・ROBOT 制作プロダクション／ROBOT 配給／東宝

www.juvenile.net

BOYS MEET THE FUTURE

INTRODUCTION

**2000年夏、地球。《テトラ》と出会った。
すべては、遠い未来から始まった。**

地球の未来にとって、ある重大なメッセージを伝えるために、何者かが地球に送り込んできた超高性能小型ロボット、テトラ。このテトラと少年たちが出会ったことから、この物語は始まる。CGを中心とした画期的なSFX映像を駆使し、少年たちと、少年の心を持った大人たちの冒険を壮大なスケールで描く近未来ファンタジー大作。“大人になって忘れてしまった大切なこと”を思い出させてくれる、勇気と友情と感動の物語である。

【juvenile/ジュブナイル】……もともとは「少年(少女)らしい、少年(少女)期の」といった意味だが、この作品の題名「ジュブナイル」には、次のような意味が込められている。
年齢、男女に関係なく、少年・少女時代の「夢」を持ちつづけること。いつまでも冒険する心を忘れないこと。

STORY

**「僕たちは、その夏がどんなに重要になる
かなんて思ってもみなかった。**

あの日までは…」

宇宙—明らかに地球とは違うテクノロジーで作られた巨大宇宙船。地球上空50万メートルの高度で停泊している。その遥か先に青く輝く地球が見える—

2000年、夏—同じ小学校に通う岬と祐介、俊也、秀隆の4人は、森の中を落ちていく強烈な光を目撃する。近付いていくと、地面に空いた穴のなかに金属製の小さな球体があった。その球体が開き、中から2つの小さな目がのぞいて言った「テトラ、ユ

ースケニアッタ」いったいテトラはどこから来たのか?そして、何のために?不思議に思いながらも、テトラと祐介たちとの交流が始まった。

近所に住む天才発明家の青年・神崎でも説明ができないほど、テトラは極めて高度な人工知能を有するロボットだった。神崎が夢中になって語る独自のタイムマシン理論に、少年たちはついていけなかったが、岬の親戚・範子は何かを感じ取った。彼ら2人も、心に“ジュブナイル”を持っているという共通点があった。

一方、宇宙船の接近とともに、太平洋上に巨大な三角錐状の物体が突如出現したり、地球上に不可解な現象が連続して発生していた。テトラの存在と何か関係があるのだろうか?そんなある日、テトラが祐介の部屋から突然いなくなってしまう。必死で探す祐介たち。しかし、テトラの姿はどこにも見当たらなかった。「テトラ、何も言わずに帰っちゃったのかよ、…」皆、あらためてテトラの存在の大きさに気づいた。

これからは自分たちの力で困難に立ち向かっていかなければならないと決意する少年たち。しかし、自分たちがやがて、地球に向けたテトラのメッセージの意味を理解し、持ちうる限りの知識とありったけの勇気で地球に迫る危機と戦うことになるとは、知るよしもなかった…



CHARACTERS

- 神崎宗一郎 (香取慎吾)………タイムマシンの権威でもある天才物理学者。
- 木下 範子 (酒井美紀)………岬の従姉で、物理学専攻の女子大生。
- 木下 岬 (鈴木 杏)………少年たちのマドンナ的存在。
- 坂本 祐介 (遠藤雄弥)………好奇心旺盛なメカ好き少年。
- 大野 秀隆 (清水京太郎)………学校の情報に詳しい便利屋。
- 松岡 俊也 (YÜKI)………いたずら好きなガキ大将。

21世紀の地球へ—この壮大な物語は幕を開ける。



ジュブナイル
Juvenile
summer adventure with tetra.



TETRA

7月15日(土)全国東宝系ロードショー